

平成 29 年 6 月 21 日

電気化学会北陸支部

「若手の講演会」 (参加 41 名)

日時 : 6 月 15 日 (木) 16 : 30 ~ 17 : 30

場所 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」 (新潟市中央区笹口 1 丁目 1 番地)

「孔の中でおもしろい物をつくる」

板谷篤司先生 (帯広畜産大学)

若手研究者として、帯広畜産大学の板谷篤司先生より「孔の中でおもしろい物をつくる」のタイトルでご講演があり、参加者との議論および意見交換があった。ゼオライトに金属を付着し、イオン交換を行うことで、窒素や二酸化炭素ガスの吸着率が高めることが主な研究内容であった。特に「食を支え、暮らしを守る」というスローガンの基に研究を進みながら社会に貢献したいとお話は大変印象に残る内容だった。今回は、講演形式のこともあり、講演が終わった後に質疑など議論が行われた。全体のお話を聴いたことで良い点だと思うが、説明途中で議論ができないことは改善したいところでもあった。これからも、若い先生方、また「若い」と思っておられる大先生方に、より多くご参加頂き、この学術交流会を盛り上げるとともに、若手研究者の育成に繋げていきたい。



特別講演会 I (参加 43 名)

日時 : 6 月 16 日 (木) 9 : 30 ~ 11 : 00

場所 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」 (新潟市中央区笹口 1 丁目 1 番地)

「無機材料と電気化学—固体中でイオンが動くとはどういうことなのかな？」

佐藤峰夫先生 (新潟大学工学部)

新潟大学の佐藤峰夫先生より「無機材料と電気化学—固体中でイオンが動くとはどういうことなのかな？」のタイトルでご講演が行われた後、議論および意見交換があった。最初に、新潟と新潟大学を紹介した後、1) リチウム電極材料の構造変化の原因について、2) 蛍光体における分子動力学法による発光中心サイトの推定について、ご講演があった。独自の格子シミュ

レーション手法を用いたサイトエンジニアリング研究分野について紹介もあり、大変興味深い講演会となった。



### 特別講演会 II と企業見学会 (参加 31 名)

日時：6月16日(木) 13:00~14:00 (特別講演会)、14:00~15:00 (見学会)

場所 ナミックス(株) ナミックステクノコア (新潟市北区濁川3993番地)

#### 1. 「大気下硬化可能な導電性銅ペーストの開発」 梶田昌志 (ナミックス株式会社)

企業概要説明が行った後、1)導電性ペーストについて、2)プリントドエレクトロニクスについて、ご説明があった。特に導電性ペーストの一つである銅ペーストに関する研究成果については大変興味深い内容であった。

#### 2. 企業見学会

主力製品である絶縁材料と導電材料の研究開発現場のご紹介と、様々な分析装置のご紹介があった。材料開発から、プロセス、製品分析を可能とする十分な環境設備が整備されていると感じた。特にユニークな円形型建物内での生活と昼食の無料提供のお話は印象に残った。



以上